

# 平成24年度決算

平成24年度決算の概要をお知らせします。

平成24年度一般会計は、歳入62億6,786万円(対前年度比19.2%の減)、歳出59億1,582万円(対前年度比21.1%の減)となりました。  
(以下、増減の金額や割合は、前年度決算額との比較です。)

## 【歳入】

町税は4,438万円、2.0%減少しました。個人・法人の町民税が増加した一方で、固定資産税が7,165万円の減少となったほか、町たばこ税が微減となりました。特定の事業のために課税される都市計画税は1億1,674万円の収入があり、下水道事業へ充当しました。同じく入湯税は49万円の収入があり、観光事業へ充当しました。

地方譲与税は4.6%の減、地方消費税交付金は0.9%の増となりました。

地方交付税は、2,047万円、1.4%の減となり、このうち普通交付税は前年と同程度でしたが、特別交付税は2,055万円、14.9%の減となりました。これは、町内企業の法人税の

納税額が回復してきたことなどにより、交付額が減ったためです。

国庫支出金は、まちづくり交付金事業が落ち着いたことなどにより、前年度から8億5,641万円、62.1%減となっています。

県支出金は、緊急雇用創出事業が落ち着いたことなどにより、4,071万円、10.2%の減となりました。

繰入金金は、前年に実施した基金の整理が今年はないため、5億8,348万円、93.7%の減となりました。

町債は、緊急防災・減災事業債などの借入により、1億8,930万円、24.4%の増となりました。

## 【歳出】

前年と比べ変動が最も大きい費目は総務費で、6億2,028万円、39.4%の減となりました。これは、前年に基金整理があったためです。

次いで教育費で、中学校建設事業が完了したことなどにより5億29万円、50.4%の減となりました。

公債費は、前年に過去に借り入れた起債の一部を予定より早く返済したことにより、1億8,135万円、20.2%の減となりました。

土木費は、まちづくり交付金事業が落ち着いたことなどにより、9,752万円、8.1%の減となりました。

農林水産業費は、まちづくり交付金

## 特別会計の決算状況

会計名	歳入 36億629万円			歳出 35億1,711万円		
	決算額	前年度	対前年度比	決算額	前年度	対前年度比
住宅新築資金等貸付事業	686万円	1,010万円	△32.1%	686万円	1,009万円	△32.0%
小沼地区財産管理	655万円	372万円	76.1%	588万円	330万円	78.2%
国民健康保険	16億334万円	15億9,722万円	0.4%	15億6,734万円	14億8,463万円	5.6%
小沼地区簡易水道事業	1億2,619万円	1億2,140万円	3.9%	1億2,015万円	1億719万円	12.1%
御代田町簡易水道事業	9,362万円	8,617万円	8.6%	8,899万円	7,886万円	12.8%
公共下水道事業	6億4,265万円	6億651万円	6.0%	6億3,432万円	5億9,243万円	7.1%
御代田財産区	2,003万円	1,338万円	49.7%	1,904万円	1,267万円	50.3%
介護保険事業	9億5,532万円	8億8,815万円	7.6%	9億2,791万円	8億6,496万円	7.3%
農業集落排水事業	2,869万円	3,058万円	△6.2%	2,664万円	2,825万円	△5.7%
個別排水処理施設整備事業	1,203万円	1,138万円	5.7%	1,149万円	1,068万円	7.6%
後期高齢者医療	1億1,101万円	1億7万円	10.9%	1億849万円	9,770万円	11.0%
合計	36億629万円	34億6,868万円	4.0%	35億1,711万円	32億9,076万円	6.9%

事業が落ち着いたことなどにより、8、054万円、22.0%の減となりました。消防費は、緊急告知システム整備が完了したことなどにより、7,881万円、20.6%の減となりました。

**【特別会計】**

特別会計は11会計で、それぞれ目的に沿った事業を推進しました。

このうち、小沼地区財産管理特別会計は、一般会計への繰出しが増えたことにより、78.2%の歳出増となりました。

御代田財産区特別会計も、一般会計への繰出しが増えたことにより、50.3%の歳出増となりました。

**【健全化判断比率等】**

地方公共団体は、財政状況の健全性を判断するために、次の5つの指標を算定し、公表することが義務付けられています。

① 実質赤字比率

普通会計（一般会計、住宅新築資金特別会計、小沼地区財産管理特別会計）の収支であり、黒字となっているため数値なしとなりました。

② 連結実質赤字比率

特別会計を含めた全会計の収支であ

り、すべての収支が黒字のため数値なしとなりました。

③ 実質公債費比率

普通会計が負担する借金返済額の割合で、公債費や公債費へ充当された負担金などから算定し、平成22年度から平成24年度の3か年の平均で7.1%となりました。

④ 将来負担比率

一般会計が将来負担すべき実質的な負債の比率で、全体の負債、第三セクターや土地開発公社等を含めた負債の重さを示すものですが、当町は第三セクターへの負担がないことや基金残高が多いことなどで数値なしとなりました。

⑤ 資金不足比率

各指標とあわせて、公営企業会計における資金の不足額を算出するものです。各会計で資金の不足額が生じていないため、数値なしとなっています。各指標において、「早期健全化」と「財政再生」の二つの基準が設けられており、基準を超えると健全化に向けた対応が必要となります。

御代田町は各指標において基準を下回っているため、健全な財政状況となっています。

問い合わせ先

企画財政課財政係（内線52・54）

**健全化判断比率** (単位:%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
-	-	7.1	-

※数値は暫定値のため、変更となることがあります。

**資金不足比率** (単位:%)

特別会計の名称	資金不足比率
御代田町公共下水道事業特別会計	-
御代田町農業集落排水事業特別会計	-
御代田町個別排水処理施設整備事業特別会計	-
小沼地区簡易水道事業特別会計	-
御代田町簡易水道事業特別会計	-

**起債(町の借金)**

平成24年度起債残高(普通会計)  
63億7,208万円

※普通会計＝一般会計＋住宅新築資金等貸付事業特別会計  
＋小沼地区財産管理特別会計

**借入先内訳**

借入先	金額
政府資金	15億6,217万円
地方公共団体金融機構	9億3,338万円
市中銀行	19億2,243万円
その他	19億5,410万円
合計	63億7,208万円

**平成24年度起債事業**

事業名	起債額
まちづくり交付金事業	5億2,030万円
緊急防災・減災事業	2億1,440万円
学校教育施設等整備事業	6,670万円
施設整備事業(一般財源化分)	160万円
臨時財政対策	3億3,530万円